



ニューサンキング

らくびお 楽Bio通信

2020年
10月号

NS 乳酸菌革命記

1960年代は、科学の力ですべての問題が解決できると信じられた時代でした。その頃、あと20年あれば、がんが完全に治療できると言われたものです。ところが、80年代になっても全く解決の目処はたちませんでした。その頃も21世紀になつたら治せるようになるだろうと言われていましたが、今はもう2009年です。

人々はがんが発見されると、死刑宣告を受けるような響きがありました。エイズも同様ですが、ウイルスが原因の病気はたいへん困難です。そういう病気が以前より多くなったとのは、抗生物質や防腐剤の使い過ぎで、外からくるウイルスやバクテリアに対する防護柵が壊れてしまい、自分で自分を守れなくなっているからです。

がん細胞は炭水化物を大量に消費すると言われており、がんの治療には、タンパク質を増やした食事をし、抗がん剤と放射線の治療をするというのが一般的です。そうやって1〜2年治療して、お医者さんから「もう、治療の方法がありません。あと1か月か2か月です」と言われると、患者さんは退院して民間療法

を試みます。いろんな治療方法を探している中で、私達のところに来ます。その時は、抗がん剤は、のんでものまなくても、あと2か月の命という状態です。

こういう患者さんを私達が生き返らせるのは、やはりとても困難です。あと数週間と言われた人が、それから1〜2年生きたという例はあります。すべての人に言いたいのは、やはり、がんにならないこと、日頃から乳酸菌を腸に入れて健康状態を保つのが一番です。また、がんになつても、すぐに乳酸菌をのみだしたら、体が回復する可能性が高いのです。

乳酸菌ががん治療に効果があるという報告は、すでにアメリカ、中国、ヨーロッパでされています。私たちもがんについて、華南医科大学に委託研究をしました。そして、化学薬品と乳酸菌をあわせて治療すると、かなり治療の確率が上がるという結果が出ています。

私が一番大事だと思うことは、体を初期化することです。がんになつたら、なる前の状態に戻すために、乳酸菌と乳酸菌メイトをたくさん体に入れます。この治療の中で、実際に何ががんに効いているのかを知るには、さらに何十年もかかると思っています。

いまでは、がんはウイルス感染と

密接な関係があることが明らかになっていきます。NPVががんの原因であるのは間違いありません。肝臓がん、腎臓がん、膀胱がん等は対応するウイルスが判明しています。バクテリアは人間の体の表面にいて、生物と共生や共生の関係をくりますが、ウイルスは細胞と組織の中に入っていきます。さらに、生物の遺伝子の中にまで入ることができるのはウイルスだけで、他の生物が遺伝子に入ることはできません。

ウイルスが細胞の中に入って、正常な遺伝子を破壊すると、細胞ががん化して死になくなり、増殖が続けば大きい腫瘍になります。通常、細胞はおおよそ50回細胞分裂を繰り返すと死んでしまいます。この50回の周期が生物の寿命になつてきます。50回の分裂が終わったら、ほとんどの器官が古くなって、命の終わりがやってくるのです。人類の長寿の方法を探るひとつの方向として、細胞の50回の分裂の時間と周期を長くすることも考えられます。

HPVの一部や鳥インフルエンザ、肝炎のウイルス等は、有害なウイルスの代表例で、重い感染症になつて初めてウイルスの存在に気がつきます。また感染したら太るウイルスもあります。食べても体内でエネルギーが燃焼しなくなつて太つて

しまいます。食事に大きな変化がないのに急に太る場合、このウイルスに感染している場合があります。

「乳酸菌革命」より抜粋



大草原を見つめる子ども
撮影：西村幹也（NPO 法人しゃがあ）

イベント情報

第8回バイオレゾナンス医学会九州大会
食・洗剤・口腔・電磁波の害から身を守る
クリーンアップ・メデイトン
会場 10月11日(日) 佐賀市文化会館 中ホール

副会長 佐賀市医師会 安部 司	幹事 佐賀市医師会 森田 孝人	幹事 佐賀市医師会 山口 謙隆
特別講演者 佐賀市医師会 田中 俊介	特別講演者 佐賀市医師会 川下 健史	特別講演者 佐賀市医師会 矢野 利郎

2020年10月11日佐賀市文化会館（佐賀県）にて「第8回バイオレゾナンス医学会九州大会」が開催されます。



お客様の声
ページ→

※個人の感想であり、効果効能を示すものではありません。

1日に2粒を、朝起床時と
夜眠る前に1粒ずつ飲んでいき
半年位になります。毎日便通があり、腸の調子
良いようです。胸が非常に健康で重要と云われ
おかげで、心からが楽になりました。
飲み方等より効果的な方法が
あるぞ、教えて下さい。

- ・豆乳ヨーグルトにして、朝食として。
- ・夜 豆乳と合わせて一粒
- ・3ヶ月後
- ・長年、おなかの張り悩まされていたのが、
ずいぶん楽になりました。

40代・女性・福岡県在住

70代・男性・群馬県在住

「大草原の乳酸菌」 お客様の声

掲載されました。



「月刊 BLESS」
(2020年8月号)

メディア掲載

私たちが毎日のように口にしてい
る調味料や食品には、さまざまな微
生物たちが関わっています。本書で
は、発酵の基本的な知識について、
微生物を擬人化したユーモラスな4
コマ漫画と、内容に対応したQ&A
形式の解説でわかりやすく紹介され
ています。清酒、塩麹、味噌、醤油、
ぬか漬、甘酒など、主に日本の発
酵食品の話題を取り上げているた
め、親しみをもちて読むことができ
ます。



「マンガで読む発酵の世界」
(2020年2月緑書房刊)

おすすめ書籍

緑化支援品の「ラーモン」に新し
い味(みそ・あごだし醤油)が追加
されました。お手軽に美味しいラー
メンを召し上がることで、自然環境
へ貢献できる素敵な商品です。その
他の緑化支援品は、「木になる塩」
、「大草原のはみがき」、「パンベンの
これ一本」などがあり、すべて
900円(税別)にて販売されてい
ます。お買い求めは下記のパンベ



お知らせ

NS乳酸菌が掲載されました。



「細胞」
(2020年10月号)

しゃがあの 日蒙文化交流支援

ラクアが支援している
日蒙文化交流活動です。
賛助会員を募集しております。



パンベンの 砂漠緑化支援

ラクアが支援している
モンゴル地方の
植林活動です。



NS乳酸菌で 良質な堆肥づくり

岐阜県高山市で NS 乳酸菌を活用し
た特別な堆肥づくりが行われていま
す。ラクアでは(株)スピリットが推進
する持続可能な社会的農業を応援し
ています。



笑顔プロジェクトで 子ども食堂支援

笑顔の自画像イラストを作成す
ることで、作成費用の一部が「子
ども食堂食材支援」に使用され
ます。ぜひ笑顔プロジェクトに
ご参加ください。



■ 電話でのご注文・お問い合わせ

フリーダイヤル
0120-098-529

※受付時間/9:00~21:00(土日祝日も承ります)

■ ホームページでのご注文・お問い合わせ

大草原の乳酸菌 検索



大草原の乳酸菌



楽Bio通信